

第20回血管腫・血管奇形IVR研究会 開催概要

■会期

2026年5月22日（金曜日） 14:00～16:00

■会場

熊本城ホール 第7会議場

■当番世話人

蘆田 浩一（東京慈恵会医科大学 放射線医学講座）

■開催趣旨

血管腫および血管奇形に対するIVR（Interventional Radiology）は、近年のデバイスや画像診断技術の進歩に伴い、その適応や治療戦略が大きく発展してまいりました。一方で、疾患の多様性や解剖学的複雑性から、治療方針の決定や手技選択においては依然として施設間・術者間で差が見られる領域でもあります。

本研究会では、日常診療で遭遇する教訓的症例（成功例・困難例・合併症例など）を共有し、実践的な知識と技術の深化を図るとともに、治療の標準化に向けた議論の場を提供することを目的としています。

第20回という節目の開催にあたり、これまでの知見を振り返りつつ、次世代へとつながる新たな展望を共有できる会となることを期待しております。

■プログラム

- ・一般演題（教訓的症例：成功例・困難例・合併症例）
- ・特別講演

■参加対象

医師（放射線科、形成外科、皮膚科、小児科、小児外科、血管外科、整形外科等）
メディカルスタッフ（診療放射線技師、看護師 他）

■参加形式

現地参加

■一般演題 (14:00～15:00)

座長：田上秀一 コメンテーター：井上政則

1. 病的骨折を契機に AVF が顕在化した左大腿筋肉内 VM の一例
横田 侃己 (大阪医科薬科大学病院 放射線診断・IVR 科)
 2. Plug and Push Technique を用いてマイクロカテーテルが固着した口唇 AVM の一例
加藤 ゆいか (東京慈恵会医科大学 放射線医学講座)
 3. 難治性 Type IIIa 頭皮動静脈奇形に対し、粘り強い経静脈的アプローチで症状緩和が得られた一例
水嶋 翔平 (久留米大学医学部 放射線医学講座)
 4. Cho-Do 分類 Type II AVM に対する Reverse Pressure Cooker Technique の有用性
宮内 亮輔 (杏林大学医学部附属病院 放射線科)
 5. 足背に潰瘍形成した血管奇形の一例
藤原 寛康 (川崎医科大学総合医療センター 放射線科)
 6. 複数回の治療で症状コントロールできた AVM の一例
井上 政則 (藤田医科大学病院 放射線科)
-

■特別講演 (15:00～16:00)

座長：蘆田 浩一 (東京慈恵会医科大学)

演者：加藤 愛子 (大分県立病院 形成外科)

演者：小野澤 志郎 (杏林大学附属病院 放射線科)